

2024年度

婦人科健診オプション検査



※婦人科健診オプション検査につきましては、精密検査や治療報告の代用にはなりません。
健康診断などで精密検査や治療の指示をされている方は、医療機関での検査をお願いいたします。

項目	検査方法	説明	料金
妊活セット ムンプス抗体・梅毒・クラミジア・淋菌	採血 医師による採取	妊娠中に感染すると、胎児に悪い影響を与える感染症です。 妊娠する前にワクチンなどで予防することが可能な為、現在感染しているかどうか、抗体があるかどうかを検査することが大切です。 今すぐに妊娠を予定していなくても早めに自分の身体をチェックして、抗体がない方はワクチンを打つなどして予防しておきましょう。	5,000
ムンプス抗体	採血	妊娠初期での感染は流産の可能性が3割近くに跳ね上がります。 また妊娠前の成人女性が感染すると、卵巣に炎症を起こし不妊症になる可能性があります。	2,000
梅毒 TPHA定性・RPR法定性	採血	赤ちゃんが胎内で亡くなったり、先天梅毒として生まれる心配があります。	1,200
クラミジア・淋菌	医師による採取	クラミジア：症状を感じにくく、気付かないことが多い感染症です。 女性の場合、放っておくと卵管炎を起こし不妊症や子宮外妊娠の原因となります。 淋菌：放置すると卵管炎、腹膜炎、肝周囲炎を起こし、不妊症の原因となります。	3,000
貧血精密	採血	女性は身体のサイクルの関係で、どうしても貧血になりがちです。 心身の不調を訴えて受診した女性の半数以上が、「潜在性鉄欠乏性貧血」であるとも言われています。 何らかの身体の不調を抱えている女性は、貧血予備軍である「隠れ貧血」の可能性があるので、この機会に検査をすることをお勧めします。	3,500
女性ホルモン エストロジオール・卵胞刺激ホルモン 黄体形成ホルモン	採血	めまい・ぼたぼた・肩こり・頭痛などの症状が見られませんか？この検査で、卵巣機能の状態や更年期・閉経の可能性がわかります。 エストロゲンが低下すると、更年期以降はメタボリックシンドローム、骨粗鬆症が増えます。 ※この検査は、40歳以上の方を対象としております。また基準値の判断は、性周期や月経周期のどこで検査測定をしたかで異なります。 結果についてのご相談は専門医への受診が必要です。	3,500
甲状腺ホルモン FT3/FT4・TSH	採血	甲状腺疾患患者の9割が女性といわれており、特に30代～60代が多く罹ります。 だるい、疲れやすいなど体調が悪い時や、血縁者に甲状腺の病気がある人は1～2年に1回は検査を受け経過を診るのが望ましいでしょう。	3,000
リウマチ RF定量	採血	リウマチは女性ホルモンが関係あるといわれ、女性に多く発症するのが特徴です。 関節に炎症が起き、痛みや腫れを伴いながら患部が変形する特徴を持ち、微熱やだるさ、食欲不振など、全身に異常をもたらすため、悪化すると日常生活を送るのが困難になることも。	1,200
CA15-3	採血	主に、乳がんに関連します。	1,900
CA125	採血	主に、卵巣がん等に関連します。子宮内膜症や月経、肝炎等でも高値を示します。	2,500
CA19-9	採血	主に、膵臓がん、胆道がん、胃・大腸がん等消化器がんに関連します。	1,800
CEA	採血	主に、消化器系のがんに関連します。喫煙や炎症、肝硬変、糖尿病でも高値を示します。	1,800
SCC抗原	採血	SCCとはSquamous Cell Carcinoma（扁平上皮がん）の略です。子宮頸部や肺の扁平上皮癌、食道がんに関連します。	1,500
ビタミンD	採血	現代人の多くは一般的に「ビタミンD」が不足状態にあると指摘されております。 ビタミンDが不足すると骨折しやすくなったり、生活習慣病・不妊症のリスクが高まるともいわれています。 ビタミンDは骨や筋肉を強くし、免疫力なども高める大切な栄養素です。 ビタミンDの値は食事・生活習慣を改善することで向上させることができるので、定期的に数値のチェックを行い良い状態をキープできるようにお役立てください。	2,000
心不全リスク NT-proBNP	採血	NT-proBNPは、心不全のリスクが高いかどうかを調べる検査で心不全の早期発見に役立ちます。 この数値が高ければ心臓にかかっている負担が重いということです。	2,000
ヘリコバクター・ピロリ抗体	採血	ピロリ菌の感染の有無を調べる検査です。ピロリ菌は慢性胃炎や胃潰瘍、胃がんの要因といわれています。 日本人は年齢が高いほど保菌者の割合が高いといわれています。 ピロリ菌に感染していても必ず胃の病気になるわけではありませんが、症状がある方は、専門医の受診と除菌をお勧めします。	2,000
ペプシノーゲン I・II	採血	胃の粘膜によって作られるペプシノーゲンの血中濃度を測ることによって、胃の粘膜が萎縮しているかどうかを診断します。 全ての胃がんを診断することはできませんが、胃がんのスクリーニング検査としての指標になります。	2,000
Viewアレルギー-39	採血	アレルギー疾患を持つ人は約3人に1人のほり、増加していると言われています。 しかし、自覚症状がなかったり、自分の症状がアレルギーなのか、その他の病気なのか見分けるのが難しいときがありませんか？ 鼻水やくしゃみの原因は、風邪？それともアレルギー？アレルギー疾患を起こさないためには、何がアレルゲン（アレルギーの原因と考えられる物質）になるのかを見つけ出して、避けることが重要です。	12,000
血液型検査 ABO式・Rh式	採血	ABO式・Rh式2種類の血液型を調べる検査です。 ※証明書発行はありません。	1,200